



TIGHT! NNE EXTRA HARD!!

うちの子
橋野奈々恵
R-18フルカラー本

「R18」
— FOR —
ADULT
ONLY
「 — 」

登場人物



大学生
(彼氏ができた世界線)

高校生時点

彼氏

高校卒業間近に奈々恵に告白した男
以来、奈々恵といろいろなプレイをしている
(競泳水着は絶対絡めている)

橋野奈々恵

高校では水泳部に所属していた
普段はクールで落ち着いた雰囲気だが
エッチなことになると彼氏の言うがままに
なる。M気質有り(無自覚)

ある夏―

奈々恵と彼女の彼氏は
一緒に郊外にある
人のあまり来ないプールに来ていた
彼氏があるプレイを奈々恵と
一緒にするためだ

彼女は不安を覚えながらも
彼氏の競泳水着に続く
新たな趣味にはちよつとばかしの
興味がありついでに行くことにした



奈々恵は更衣室に入ると着替え始めたが
彼氏は他に全然人がいないことをいいことに
奈々恵と一緒にいた

「ちよつと・・・
流石に恥ずいよ!!!
ラブホとは違うんだから・・・」

そう言いながら服を脱ぎ
すでに下に着ていた競泳水着を露わにする
奈々恵を彼氏はまじまじと見ていた

奈々恵が着替え終わると
彼氏は奈々恵を隣の
シャワー室に連れ込んだ



ぐっぽ
ぐっぽ

あはは

ぐっぽ
ぐっぽ

あはは

彼氏は奈々恵をシャワーに連れて行って
ノーズクリップを付けさせ
イラマチオをさせた

ちんぽを抜かない限り
奈々恵は呼吸ができない

それでも彼女は必死に
ちんぽを吸い上げ呼吸しようとしていた

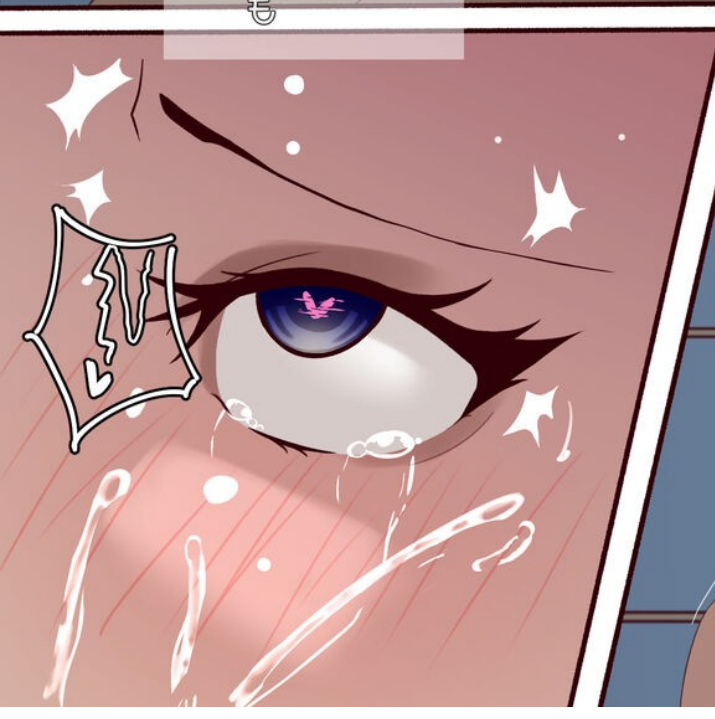
それが彼氏のちんぽを
強烈にイキリ立たせた

彼氏が射精しそうになると
ちんぽはより膨らみ
いよいよ呼吸は全くできなくなる

射精しそうになる瞬間
彼は奈々恵の頭を抱え
一気に自分の腰に打ち付けた

奈々恵は吐きそうになりながらも必死に
飲み込み一刻もちんぽを自分の喉から
引き抜こうとしていた

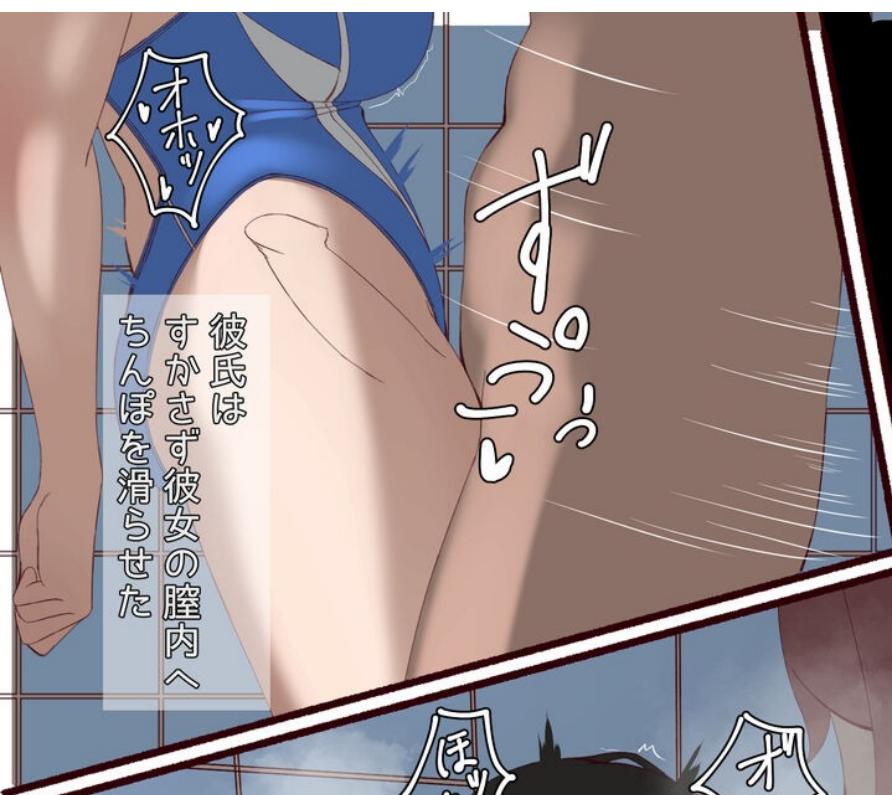
彼女は酸欠になり
尋常じゃない苦しみを
味わっていたが
何故か同時に気持ちよさも
感じていた



一回出したのにも関わらず
彼氏のちんぽはまだ勃っていた



彼氏は
すかさず彼女の腔内へ
ちんぽを滑らせた



カーテンを締めた薄暗いシャワー室の中で
二人はバレないようにとシャワーを出し
喘ぎ声をかき消そうとしていたが
奈々恵のそれはシャワーの水音越しても
彼氏の耳には確実に届き
ちんぽをより刺激させた。

シヤアアア...



奈々恵の腔内への思いっきりの吐精

奈々恵は目を閉じ
真正面からその快楽を
受け止めていた



その後彼氏から
プールで泳いでいいよと言われ
自由気ままに泳いでいたが
先の出来事を思い出し
ムラムラし始めていた。



プールから上がるまで
我慢できなくなり
奈々恵は水中に潜り
自分のまんこを
弄り始めた

時間が経つにつれ
苦しさが強まってくる
そして絶頂に達し
そのシヨックで息を
大量に吐いた
奈々恵は快楽と苦しさを
同時に味わった



さっきは色々と危なかった……

なんとか浮上できた奈々恵は
一旦休憩しようとして
プールから上がった

するといきなり彼氏が
彼女の腕を掴んだ
奈々恵は混乱していたが
彼氏はそのまま奈々恵と一緒に
プールに飛び込んでいった



プールの中に引きずり込んだ後
彼氏は奈々恵にダイビングウエイト
ノーズクリップを付けさせた

段々と苦しさが強まってくる
奈々恵だったがイキそうになる
オマンコの快楽によって苦しいのに
気持ちいい感覚になっていた。

その後
彼氏は奈々恵のおまんこを弄り始めた
自分自身は簡易空気ボンベで
呼吸していたが
奈々恵には最低限しか
呼吸を確保してあげなかった

ゴボツ

オッ

ゴボボ

オッ

ガボツ

オッ
ゴボツ
オッ



彼氏の手マンによって
奈々恵は強制的に絶頂させられた

カクッ

同時に彼女の口から
大量の空気が出ていった

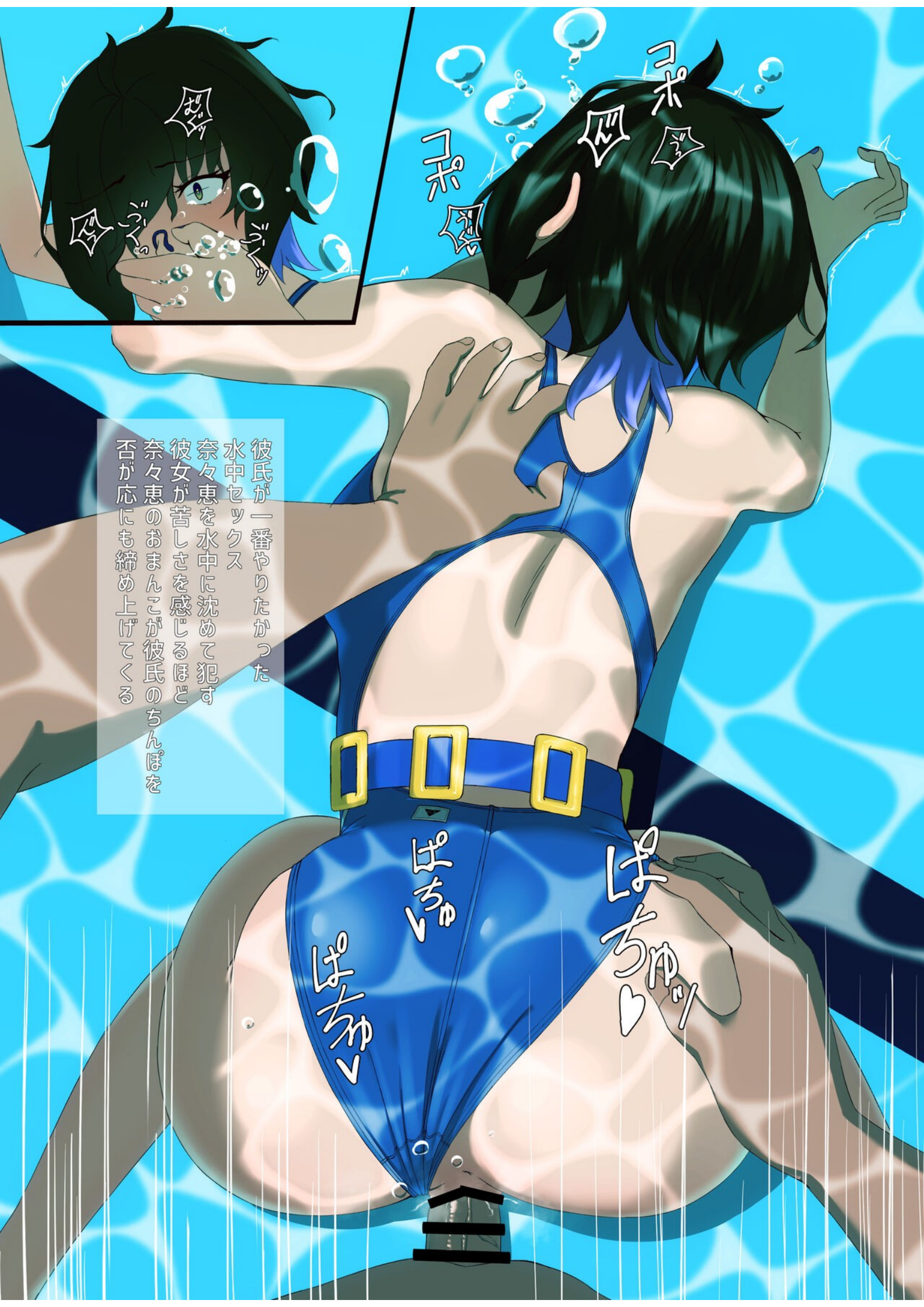
その時、息苦しさに絶頂の快感が
重ね合わせられ彼女の脳を
絶え間なく刺激していた

ビクッ

ビクッ

ビクッ

この後、すぐに彼女に
簡易酸素ポンペを
啜えさせ呼吸をさせた後
そのまま今日一番やりたかった
プレイに突入する



彼氏が一番やりたかった
 水中セックス
 奈々恵を水中に沈めて犯す
 彼女が苦しさを感じるほど
 奈々恵のおまんこが彼氏のちんぽを
 否が応にも締め上げてくる

ぽちゅ
 ぽちゅ
 ぽちゅ

ぽちゅ
 ぽちゅ♡

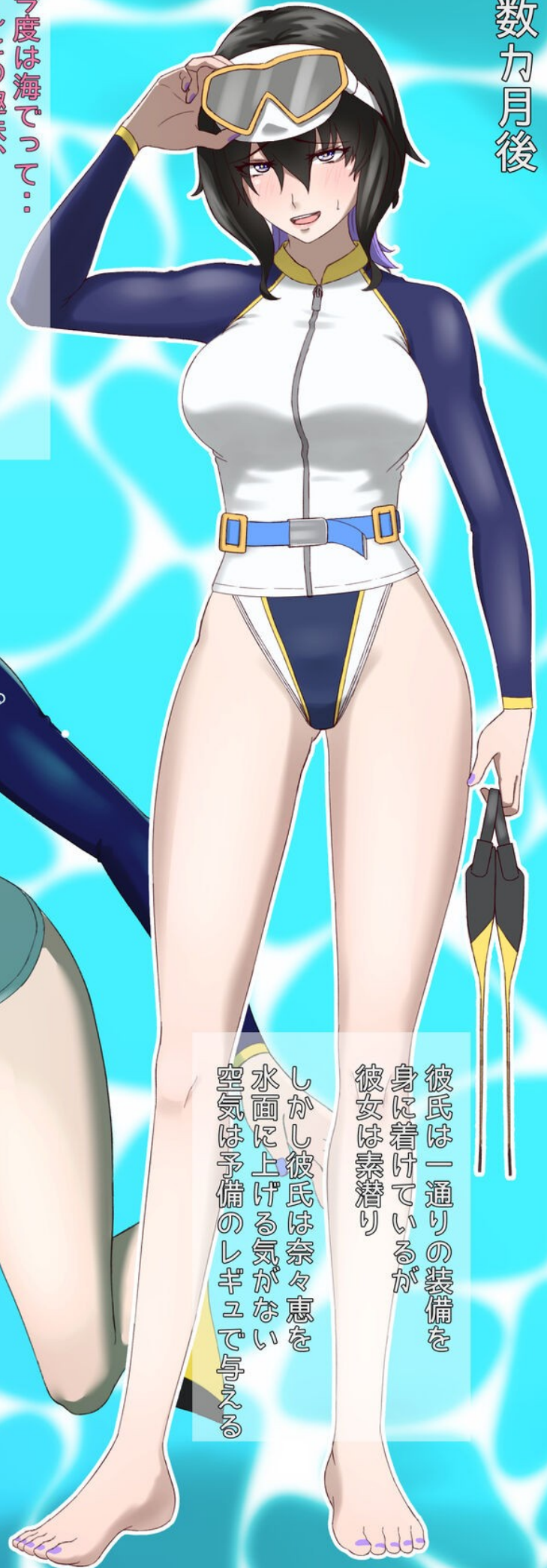
数ヵ月後

「今度は海でって…
あんたの趣味、
もう行くところまで行った感じだね」

彼氏は海で
同じブレイがしたいと望み
ダイビングのライセンスを取り
奈々恵を海へ連れて行った



一通り泳ぎを楽しんだ後
彼氏の趣味の時間が始まる



彼氏は一通りの装備を
身に着けているが
彼女は素潜り
しかし彼氏は奈々恵を
水面に上げる気がない
空気は予備のレギュで与える



彼はウエットスーツから
ちんぽを出し
奈々恵に啜えさせた
当然水の中なので自分で呼吸はできない
射精すまで最低限の呼吸しかさせない

奈々恵はなんとか
射精させたが
軽く酸欠になっていた



その後、彼は奈々恵のまんこに
ちんこを挿入した。
長丁場になるため呼吸はさせていた
ちんこを出し入れするたびに
彼女はぐくもった喘ぎ声と同時に泡を大量に
吐いていた

そして二人は
そのままだんだんと
海底へ沈んでいった

ガッ ゴボッ！ ゴボオオ オッ
(いッ 今 はッ いい…)

(もう ちよっと、このま…ま…で)

射精し終わった彼氏が
レギユを唾えさせようとしたが
奈々恵は彼氏の腕を掴み拒んだ

奈々恵は失神寸前の中で
酸欠の苦しみで増幅された
絶頂の快楽を
深く深く味わっていた

この後、急いでレギユを唾えさせて
呼吸を確保させた

あれ以来
定期的に二人はプールや海に
行ってはこのアブノーマル極まりない
プレイをしている

今回は彼女の方から一定の時間経ってから
来てくれと言われたので彼氏はその通りにした
言われた通りの時間の後に水中に入ってみると
底の方でオナニーに耽っている奈々恵がいた

念のため簡易酸素ポンペを渡していたが
彼女は最低限しか使わず
酸欠状態でオナニーし続けていた

(やっと きた……
はやく シて……)

奈々恵は
恍惚に溢れた表情で
彼氏のちんぽを欲しがっていた



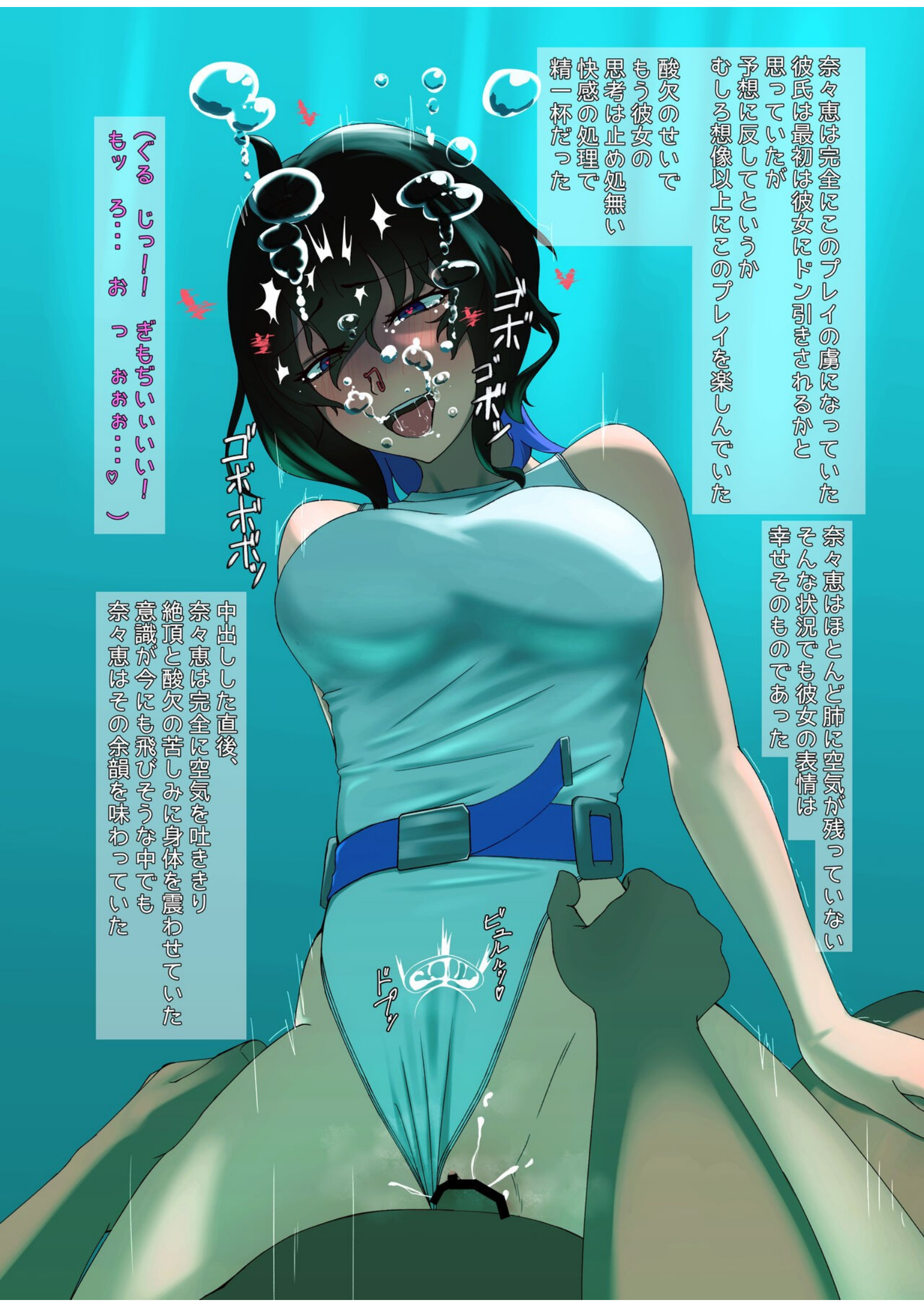
奈々恵は完全にこのプレイの虜になっていた
彼氏は最初は彼女にドン引きされるかと
思っていたが
予想に反してというか
むしろ想像以上にこのプレイを楽しんでいた

酸欠のせいで
もう彼女の
思考は止め処無い
快感の処理で
精一杯だった

奈々恵はほとんど肺に空気が残っていない
そんな状況でも彼女の表情は
幸せそのものであった

(くる じゅー！ ぎもちいいいいー！
もッ ろ… お っ おおお…お！)

中出した直後、
奈々恵は完全に空気を吐ききり
絶頂と酸欠の苦しみに身体を震わせていた
意識が今にも飛びそうな中でも
奈々恵はその余韻を味わっていた



あとがき

どうも、モンスーンでございます。
この度はこの本を手にとっていただき、
誠にありがとうございます！

実を言うと最初はこの本を作るつもりはありませんでした。
何なら2023年はイベントへの参加自体はせず、他の描きたいもの、
やりたいことに力を入れるつもりでした。
しかし、この度ぴたけっと、その2回目が開催されることを耳にし、
1回目の熱気を実感している僕としては見送る判断はできず、
急遽新刊を作ったの参加を決めたのでした。
急に作ると決めた本ですので、内容もネットに公開したイラストを
まとめたものにするつもりでした。

しかし、結果としてはイラスト本なのか漫画本なのかよく分からない
ものとなりました。

しかも、水責めや窒息というマイナー性癖をよりにもよって
奈々恵ちゃんて描くということまでしてしまいました。
多分この本はごく一部の人にのみ刺さる内容になっているかもしれませぬ。
まあ私としてはずっと前からちゃんと描いてみたかった性癖でしたので
大変満足です。

ではみなさん、またいつかどこかで。

奥付

発行誌名：TIGHT! NNE EXTRA HARD!!

発行サークル：季節風の吹くところ

発行者：モンスーン

発行日：2023年7月17日

印刷所：有限会社ねこのしっぽ

連絡先：

[E-Mail]monsoonoekaki@gmail.com

[Twitter]https://twitter.com/M0nsoo00N

[pixiv]https://www.pixiv.net/users/3449626

[misskey]https://misskey.io/@M0nsoo00N

TIGHT! NNE EXTRA HARD!!

季節風の吹くところ 

THE MONSOON BLOWS SPOT





